

旭小学校・関小学校統合に係る説明会【旭地区】

○開催日時

令和8年8月24日（月）、19時15分から20時30分まで

○場所

旭小学校体育館

○参加者

69人

○主な意見

1 統合について

- ・全国には少人数制の学級がたくさんあることから、クラス替えができないことで社会性やコミュニケーション能力が身につけにくいというのは偏見の様に思う
- ・旭小学校が少人数なのは最近ではない。その頃から10数年かけて児童、保護者、地域の方へ説明をすることが必要だったと思う
- ・説明会で紹介しているこどもの声は実際とは違うと聞いている
- ・廃校を急がないでほしい
- ・伝統ある旭小学校は住民にとって大切な場所である
- ・こども一人ひとりの意見を聞き、気持ちをきちんと理解してほしい
- ・旭小学校で卒業したい。廃校しないでほしい
- ・自分のこどもは統合が嫌だと言っている
- ・他の地域では数人でも存続する学校があるにもかかわらず、なぜ吉川市では廃校とするのか
- ・少人数学年の保護者の意見を聞いて方向性を決定したとのことだが、そのことのみで統合を決定したのか
- ・学校がなくなることによって地域に来る方、こどもを産んで育てようという人がいなくなり、地域の衰退につながる可能性もある
- ・小学校で人数が少なくても、中学、高校以降でコミュニケーションを取る機会はたくさんあると思う。
- ・具体的な話を聞かないと統合に賛成も反対もできない。小出しでもいいので、具体的な話を伝えて欲しい。
- ・街中で旭小に行きたい子をスクールバスで集めてはどうか
- ・療育のエキスパートを旭小に集め、旭小を存続させてはどうか
- ・学校は地域の文化の中心であり宝である

2 統合に伴う配慮、対応等について

- ・いじめにあたり、不登校になった場合はどのように対応してくれるのか
- ・スクールバスの費用は誰が負担するのか
- ・スクールバスの検討にあたり、各家庭への聞き取りはどのように計画しているのか
- ・こどもの発達に関する相談は、統合以前、以後でどの程度ケアしてもらえるのか

3 その他の意見

- ・住民合意のある意思決定を求めるオンライン署名と紙の署名、合わせて3,664筆である
- ・裁判所に学区審議会答申無効確認請求訴訟を提訴し、受理する旨連絡があった。司法判断が示される前に条例改正を進める必要はあるのか
- ・統廃合の是非についてこどもへの意見聴取をしないことについて、こどもの意見表明権に抵触するのではないか
- ・市街化調整区域の見直しをしなければ、旭地区は廃れてしまうのではないか